

政策番号	16	政策分野	高齢者福祉
------	----	------	-------

基本方針	いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎え、今後、介護給付費をはじめとした財政需要の増大が想定されるなか、高齢者自身が就労や社会参加を通じた生きがいがづくり、健康づくりを進めることにより、活力あるまちづくりを推進する。また、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、介護・医療施設等の整備に取り組むとともに、地域住民参加型の見守りネットワークを構築し、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりを推進する。
------	--

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン
----------------	---------------

**政策の評価**

**1 客観指標評価**

政策の客観指標評価	平成23 評価値	令和2 目標値	平成 29	平成 30	令和元年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 認知症サポーター養成者数(人)	28,920	144,000	a	a	104,392	116,180	118,000	98.5%	b
2 施設・居住系介護保険サービス定員数(人分)	11,981	18,151	a	a	16,807	16,455	17,179	95.8%	a
3 地域包括支援センター相談件数(件)	239,203	-	b	a	281,315	281,004	295,381	95.1%	b
			a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成29	平成30	令和元
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築(2指標)	b	a	b
1602	活力ある長寿社会の実現(4指標)	c	b	b
1603	高齢者を支えるネットワークの推進(2指標)	b	a	b
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現(2指標)	a	a	a
1605	魅力ある介護現場の実現(1指標)	-	-	a
(5施策平均)		a	b	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)	平成29	平成30	令和元
	a	a	a

**2-1 市民生活実感評価**

番号	設問	評価		
		平成29	平成30	令和元
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	c	c	c
2	高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	c	c	c
3	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	c	c	c
4	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしい暮らしを送れている。	c	c	c
5	高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	a	a	a
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	b

**2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)**

平成29年度		平成30年度		令和元年度	
順位	%	順位	%	順位	%
14	82.8%	14	83.6%	13	82.4%

### 3 総合評価

<b>B</b>	政策の目的がかなり達成されている	平成 30 年度	B
<b>【客観指標総合評価】</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
<b>【市民生活実感調査総合評価】</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。		平成 29 年度	B
<b>【総括】</b> ・「介護職が重要な仕事となっている」と思う回答が多いことなどから、市民生活実感調査がb評価となった。また、「認知症サポーター養成者数」や「施設・居住系介護保険サービス定員数」が増加するなど、高齢者を支える担い手育成や基盤・ネットワーク整備が進捗しており、総合的に判断して、当該政策の目標は「かなり達成されている」と評価できる。			

#### 今後の方向性の検討

#### <この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成29	平成30	令和元
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築	B	B	B
1602	活力ある長寿社会の実現	C	B	B
1603	高齢者を支えるネットワークの推進	B	B	B
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現	B	B	B
1605	魅力ある介護現場の実現	A	C	A

#### <今後の方向性>

##### ①高齢者の尊厳を保つ社会の構築

・関係機関・団体と連携し、成年後見制度の普及・啓発、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援などに取り組み、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現を図る。

##### ②活力ある長寿社会の実現

・高齢者が可能な限り健康で自立した高齢期を過ごしていただけるよう、シルバー人材センターや老人福祉センター等の活動における自主的な健康づくりや社会参加のきっかけづくり、介護予防の普及啓発に取り組む。

##### ③高齢者を支えるネットワークの推進

・高齢者が自ら望む地域で安心して生活できるよう、高齢化率の上昇や単身世帯の増加といった状況を踏まえたうえで、老人福祉員活動の推進、地域包括支援センターの機能充実、これらの活動の周知に取り組むとともに、高齢者を支える地域の関係機関等のネットワーク構築を図る。

##### ④介護サービスの充実による豊かな生活の実現

・介護を受けながら住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、地域密着型サービスの充実などの基盤整備に取り組むとともに、サービスの周知を図る。

##### ⑤魅力ある介護現場の実現

・市民にとって介護職場の魅力が向上し、介護職員のスキルが向上するよう、京・福祉の研修情報ネットに掲載する研修・講座数の充実を図る。また、研修の主催者団体の増加を図るとともに、見やすく使いやすいHPの構築に向けて検討を重ねていく。

政策名	16	高齢者福祉						
指標名	認知症サポーター養成者数（人）							
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室	連絡先						
		746-7734						
<b>1 指標の説明</b>								
認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学んだサポーターの養成者数								
<b>2 指標の意味</b>								
高齢者の尊厳が保たれる社会の構築に向けた進捗状況を示す指標								
<b>3 算出方法・出典等</b>								
算出方法：当該年度末時点の養成者数 出典：事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>								
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠					
	28,920	144,000	第7期京都市民長寿すこやかプラン					
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値 数値	根拠	達成度		
数値	104,392	116,180	11,788人増	118,000	「令和2年度末の目標である14万4千人」の達成のために、当該年度に達成すべき数値	98.5%		
	全国順位	中長期目標			備考			
		数値	目標年次	達成度		根拠		
数値	—	144,000	令和2年度	80.7%		第7期京都市民長寿すこやかプラン		
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>			<b>7 評価結果</b>		
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満			認知症に関する知識は、市民に周知されることが望ましいことから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。 目標値 平成30年度：118,000人（13,000人増） 令和元年度：131,000人（13,000人増） 令和2年度：144,000人（13,000人増）			平成29	平成30	令和元
						a	a	b

指標名	施設・居住系介護保険サービス定員数（人分）							
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室	連絡先						
		213-5871						
<b>1 指標の説明</b>								
介護保険施設及び介護専用居住系サービスの定員数								
<b>2 指標の意味</b>								
介護サービスの充実度を示す指標								
<b>3 算出方法・出典等</b>								
算出方法：当該年度末時点の介護保険施設等の実定員数 出典：事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>								
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠					
	11,981	18,151	第7期京都市民長寿すこやかプラン					
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値 数値	根拠	達成度		
数値	16,807	16,455	352人減	17,179	令和2年度末までに目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	95.8%		
	全国順位	中長期目標			備考			
		数値	目標年次	達成度		根拠		
数値		18,151	令和2年度	90.7%		第7期京都市民長寿すこやかプラン		
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>			<b>7 評価結果</b>		
最新数値が、目標値に対して、 a：90%以上 b：80%以上～90%未満 c：70%以上～80%未満 d：60%以上～70%未満 e：60%未満			当該指標については、第7期京都市民長寿すこやかプランに掲げた整備目標数を目指すものであり、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。			平成29	平成30	令和元
						a	a	a

政策名	16	高齢者福祉
-----	----	-------

指標名	地域包括支援センター相談件数（件）
-----	-------------------

担当部室	健康長寿のまち・京都推進室	連絡先	746-7734
------	---------------	-----	----------

**1 指標の説明**

地域包括支援センターへの年間相談延べ件数

**2 指標の意味**

地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標

**3 算出方法・出典等**

算出方法：全数調査  
出典：事業担当課調べ

**4 数値**

10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	239,203	-	-

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	281,315	281,004	311件減	295,381	前年度実績の5%増の数値	95.1%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	
----	--

**5 評価基準**

単年度目標に対する達成率が  
a：100%以上  
b：90%以上100%未満  
c：80%以上90%未満  
d：70%以上80%未満  
e：70%未満

**6 基準説明**

積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。

**7 評価結果**

平成29	平成30	令和元
b	a	b